

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 水環境課
 担当名: 水環境担当
 内線: 3077

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B25	綾瀬川・中川水質集中改善事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	綾瀬川・中川水質改善対策費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目		
							分野施策	040103 川の再生	
1 事業の概要 綾瀬川及び中川の水質改善対策について部局横断的な取組をより一層進め、全国水質ワースト5河川からの脱却を図る。 補助申請件数が当初見込みを下回ったこと及び留保分による減 (1) 流域協議会の運営 3千円 (2) 下水道供用開始区域の単独処理浄化槽の解消 7,123千円 (4) 啓発による対策 431千円 (5) 国等との検討会議 14千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 流域協議会の運営 158千円 155千円 流域市町と協力して下水道接続率の向上、合併浄化槽への転換を進めるための対策等について検討・実施する。 イ 下水道供用開始区域の単独処理浄化槽の解消 11,235千円 4,112千円 (ア) 雨水貯留施設転用補助金 10,017千円 3,017千円 下水道接続に伴い、単独処理浄化槽を雨水利用施設に転用する場合、市町の補助に上乗せして最大100千円の補助を行う。 (イ) 下水道接続に係る啓発 1,218千円 1,095千円 下水道未接続世帯を対象に下水道接続の必要性、手続き、費用及び補助制度の周知を図る。 ウ 非常勤職員人件費 2,846千円 補助制度の事務処理及び相談、下水道未接続世帯への啓発など当該事業における啓発対策に係る事務を行う。 エ 啓発による対策 4,642千円 4,211千円 (ア) 啓発説明会等 流域協議会、川の国応援団及び川の国アドバイザーを活用して、生活排水対策に係る説明会等を実施する。 P T A等の団体や公民館の講座を活用して、チェックシートによる台所対策の実践を促す。 生活排水対策一斉取組を流域全体に広げるため、台所対策グッズ等の支援を行う。 (イ) 管工事業協同組合等による戸別訪問 管工事業協同組合及びJ Aに下水道未接続世帯への訪問及び啓発を依頼する。 オ 国等との検討会 158千円 144千円 河川の水質改善対策に関して、国等の河川管理者や流域都県との検討会議を開催する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費)(区分)企画費 (細目)環境保全対策費(細節)環境保全対策費 (積算内容)環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等				(2) 事業計画 通年で事業実施 (3) 事業効果 現状 BOD(H22～H24平均) : 綾瀬川3.9mg/L、中川3.9mg/L 生活排水対策 BOD削減効果: 綾瀬川1.4mg/L、中川1.3mg/L					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.9人=18,050千円 増員(主査1)				(4) 補正予算の概要 雨水貯留施設転用補助利用減による減額 7,000千円、執行の節減による減額 571千円					
財 源 内 訳									
予算額		諸収入						一般財源	補正後の予算額
決定額	7,571						7,571	11,468	
現計額	19,039	328					18,711		